



PERSON

[人]

技術マーケティング部
マーケティング・商品企画担当 参事
藤原 好将

技術への探求心を ビジネスに繋ぐ

設計開発力をデータ活用ビジネスに生かす

2000年に入社しWeb開発業務を経て3年目から研究開発に携わりました。Javaを用いた開発が目玉とされた時期で、Web開発フレームワークや静的テストツールの開発などを10年に渡って手がけました。

その後、これまでの設計開発経験を生かして新規ビジネスや商品を創出する業務に従事しました。最初に取り組んだ運転手の見守りでは、多くのタクシー、バス、損保会社などに企画書を携えて出向き、「現場のニーズが分かっていない」と厳しい声もいただきました。まだ形になっていないものの提案は、机上の空論や理想論だと受け止められがちですし、ニーズに合わないものは相手に何も響きません。折しも、運転手の健康状態に起因する事故が増えていたこともあり、現場の真剣な意見を頂戴しながら、それに応える形で現場検証を重ねてバイタル機器を活用したサービスの商品化を実現しました。

IoTデバイス連携、システム構築、データの収集・表示までは得意としていた当社ですが、データを加工して予測に用いるといった応用領域については深く踏み込んでいませんでした。データサイエンティストがかなり注目されてきた時期でもあり、約1年、データ活用ビジネスのための技術習得に専念し、確率統計や機械学習を独学で勉強するとともに、講座の受講や研修にも積極的に参加し、コンペティションなどにも応募しました。

また、大学・研究機関との共同研究も行いました。首都大学東京と取り組んだスパイクングニューラルネットワーク、電気通信大学と進めたファジィ推論は、それぞれ、当社が提供する生活IoT(くらしみらいサービス)の入浴時間推定や衣類乾燥時間推定に独自エンジンとして応用され、特許も出願しています。



当社にしかない技術でビジネス開花へ

旺盛な好奇心と勉強意欲は私の一番の持ち味だと自負しています。新しい技術が登場し「この技術を使って何ができるだろうか」と考えると、分からないまま放っておくことができない性分です。未知の技術を自分のものにしていきたいという気持ちは人一倍強いようです。

データサイエンティストの要件として「ビジネス力」「データサイエンス力」「エンジニアリング力」の3つが求められます。私自身はエンジニアリング力を中心に、ビジネスとデータサイエンスにも関与しながらビジネス創出の橋渡しをしていくのが自分の本領を発揮できる部分でもあり、役割だと捉えています。

2019年からは、量子計算機でも解読困難な公開鍵暗号の開発とその応用について(株)東芝と連携した取り組みを進めています。実用的な量子計算機が開発されれば、現在のITシステムの安全性を担保する基盤技術である公開鍵暗号の安全性は低下します。「耐量子計算機暗号」は10年先を見据えた新技術へのチャレンジであり、実装のノウハウなどを教わりながら代数学などを基礎から勉強して臨んでいます。暗号の独自開発とともに、標準化候補となっているいくつかの暗号化方式をいち早く習得することで、ビジネスチャンスを逃さず掴みたいと考えています。

常に新しい技術に挑戦する仕事に携わっている私ですが、いずれは、「この技術があるから当社に仕事を依頼したい、連携したい」といった、当社にしかない強みを生み出せれば、強い共創価値が生まれるのではないかと考えています。そうしたバリュープロポジションを確立できるような当社オリジナルの要素技術や商品の開発を引き続き目指していきます。

Vol.27 2020年4月6日発行



発行人：成田 武司
発行：東芝情報システム株式会社
〒210-8540 川崎市川崎区日進町1番地53 (興和川崎東口ビル)
連絡先：技術マーケティング部
E-mail wave@tjsys.co.jp URL <https://www.tjsys.co.jp/>



本技術誌は、適切に管理されたFSC®認証林およびその他の管理された供給源からの原材料で作られた「FSC®認証紙」と、「植物油インキ」を使用しています。